

●第3回建設ワークショップ

テーマ「いろいろな立場から新図書館の運営を考えよう！」

平成21年9月25日（金）第3回建設ワークショップが「昼の部」13名、「夜の部」19名の皆さんにご参加をいただき、開催されました。

今回のテーマは「それぞれの立場にたって運営について考える」

参加者の皆さんは、「利用者」「職員」「管理者」の3つの立場に分かれ、それぞれの立場から新図書館の運営である「開館時間・休館日」「移動図書館」「インターネット予約」について、グループとしての意見をまとめました。

■利用者グループ



グループワークの様子です。
夜の部には水明小学校の6年生が3人参加してくれました。

このグループでは開館時間について、9時30分～21時までにとまりました。

“塾が終わって迎えが来るまでの時間を図書館で待っていれば安心”といった意見が出され、利用者の目線で利便性を考えました。

■職員グループ



移動図書館について、もし導入となれば「専任の職員の確保」「維持費」「利用者がどれくらいいるか？」などの事前調査が必要になるので、最低でもこの3つが揃わなければ導入は難しいという意見にまとまりました。

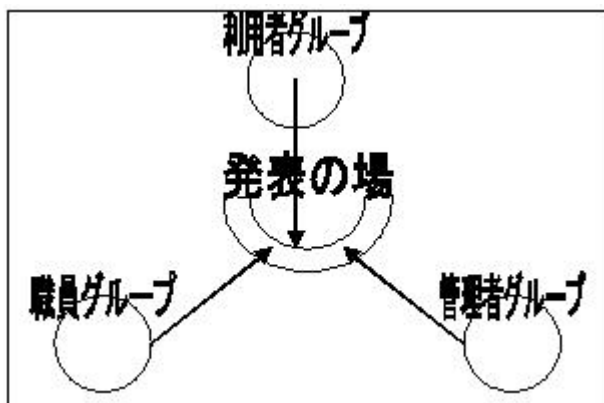
■管理者グループ



インターネットの予約を受け入れているケースについてグループ内で共有しました。

話題の新刊には1冊に何百人から予約が入り、その対応が少ない職員でカバーできるかどうか。作業が膨大になることと、専用の部屋が必要になることと、それに伴う予算と人件費の確保が難しい。というかなり具体的な意見がまとまりました。

いつもはグループごとに意見を発表しますが、今回は思考を変え、まとめた意見を持ち寄って、グループ対抗形式で発表しました。



今回はどんな施設にしたいか？というテーマから離れて、それぞれの立場から“開館したときにこんなふうに使いたい”“そのために〇〇が必要”など具体的に意見が交わされました。

いつもと立場を変えて考えることで、違った考え方に気づき、実際に運営をしていく難しさを考えることができたワークショップとなりました。